星空おでかけ情報

観望会のご案内

札幌市青少年科学館
問い合わせ:011-892-5004(科学館天文係)

昼間の星をみよう
- 日　程　土曜日　14:30〜15:00（受け付け13:30〜1階エントランス）
- 場　所　科学館屋上天文台
- 観望対象　金星、アークトゥルス、ベガ
- 定　員　先着15名

科学館天体観望会
- 日　程
  - ●9月17日(土)　20:00〜21:30
  - ●10月8日(土)　20:00〜21:30
- 場　所　科学館駐車場
- 観望対象　夏から秋の星座

札幌市天文台
問い合わせ:011-511-9624(札幌市天文台)

昼間公開
- 日　程　火曜日
  10:00〜12:00
  水曜日〜日曜日
  10:00〜12:00、14:00〜16:00
- 観望対象　太陽、金星

夜間公開
9月15日(木)は中秋の名月です！

- 日　程
  - ●9月　19:00〜21:00
    15日(木)16日(金)17日(土)
    18日(日)19日(月祝)
    観望対象　月・夏から秋の星座
  - ●10月　19:00〜21:00
    ①7日(金)8日(土)9日(日)10日(月祝)
    観望対象　夏から秋の星座
    ②21日(金)22日(土)23日(日)
    観望対象　夏から秋の星座

「中秋の名月」でお月見！

秋といえばお月見。1年が365日とされていなかった旧暦の時代、昔の人は月の満ち欠けによって暦をつくっていました。その時代、秋は七月〜九月としており、そのちょうど真ん中（中秋）の八月十五日に見える月を「中秋の名月」や「十五夜の月」と呼び、お月見を楽しんでいました。

現在の暦に直すと、2016年の「中秋の名月」は9月15日。キレイなお月さまが見えるといいですね。

必ずしも、中秋の名月＝満月というわけではないのです

プラネタリウム利用案内

プラネタリウムの投影時間は50分間です。
（「おばけのマ〜ルとゆめのとびら」「ほしをつかまえたおうじ」は 30 分間）
全ての回で、職員による星空生解説がございます。

●プラネタリウム入場時刻（9・10月）

		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回
9月	平　日	9:10（団体専用）※内容は団体の希望による	10:25（団体優先）ほしをつかまえたおうじ ※団体優先のため、内容の変更あり	11:40（団体専用）※内容は団体の希望による	13:00 ほしをつかまえたおうじ	14:15 ダークユニバース	15:30 今日の星空
	土・日・祝	9:40 ダークユニバース	10:50 ほしをつかまえたおうじ	12:00 今日の星空	13:15 おばけのマ〜ルとゆめのとびら	14:30 ワク・ドキ探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-	15:45 今日の星空
10月	平　日	10:15（団体専用）※内容は団体の希望による	11:30（団体優先）ほしをつかまえたおうじ ※団体優先のため、内容の変更あり	12:45（団体優先）ビリオン サン ※団体優先のため、内容の変更あり	14:00 ワク・ドキ探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-	15:15 今日の星空	
	土・日・祝	10:15 ビリオン サン	11:30 おばけのマ〜ルとゆめのとびら	12:45 今日の星空	14:00 ワク・ドキ探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-	15:15 今日の星空	

プラネタリウム番組

こんな方におすすめ ちいさなお子さまと保護者
『ほしをつかまえたおうじ』
「ほしにねがいをいえばゆめがかなう」おうじはほしをつかまえて、なにをおねがいするのでしょう。札幌在住の絵本作家そらさん原作のおはなし。

こんな方におすすめ ちいさなお子さまと保護者
『おばけのマ〜ルとゆめのとびら』
「おばけのマ〜ル」がプラネタリウムにやってきた！マ〜ルが星のお勉強…。と思いきや！カワイイ冒険のはじまり！

こんな方におすすめ 小学生以上（宇宙のふしぎを知りたい方）
『ワク・ドキ！探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-』
天才科学者「ガリレオ・ガリレイ」が案内役となり、太陽や８つの惑星、小惑星、オールトの雲など太陽系をめぐる旅に出発します。

こんな方におすすめ 小学校高学年以上（天文分野の専門知識に触れたい方）
『ダークユニバース』
見えないけれど確実にそこにある、ダークマターとダークエネルギー。宇宙の姿を形作り、これからの宇宙の運命を握っている謎の存在であるこれらにスポットをあて、宇宙の謎に迫る！

こんな方におすすめ 小学校高学年以上（天文分野の専門知識に触れたい方）
『ビリオン サン -星空３次元マップを作れ-』
10 億個の太陽の位置を調べて、天の川銀河の三次元地図をつくる…。人類の新しい宇宙への挑戦。

こんな方におすすめ 小学校以上（星空解説をたっぷり聞きたい方）
『今日の星空』
全編職員による生解説。当日の星空や旬の話題をたっぷりお届けします。職員によってお話の内容が変わります。約２ヶ月毎に変わる「テーマ解説」として、月と惑星についても紹介します。

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
※開演の5分前に発券を終了いたします。開演後は入場できません。（各回定員200名）
※Tモード付き補聴器で、音声を拾うことができます。

休館日　9/5・12・20・23・26・27、10/3・11・17・24・25・31

観覧時間　5月〜9月：9:00〜17:00
10月〜4月：9:30〜16:30
（入館は閉館の30分前まで）

観覧料	大人	中学生以下
展示室	700円(500円)	無料
プラネタリウム	500円(360円)	無料

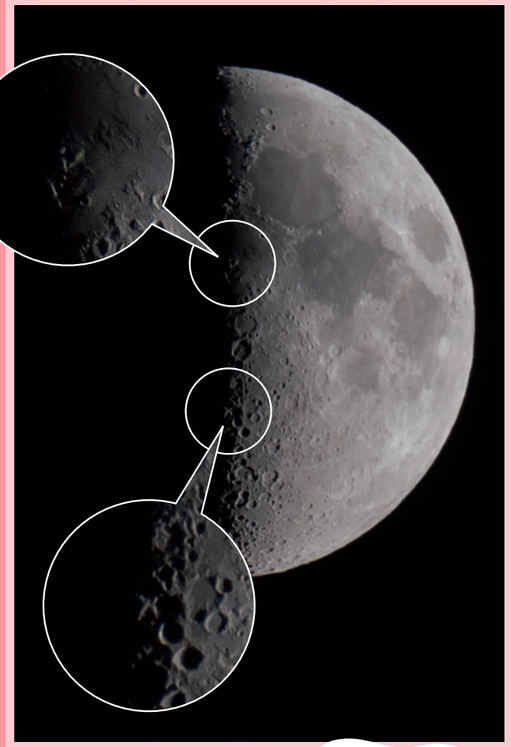
※(　)は、65歳以上、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。

―科学の今と未来をつなぐ―
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
（札幌市青少年科学館 指定管理者　公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団）
〒004-0051　札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 2-20
TEL：011(892)5004　FAX：011(894)5445　ホームページ：http://www.ssc.slp.or.jp/

交通案内

札幌市青少年科学館天文リーフレット 星空散歩

2016年 9・10月号 vol.67

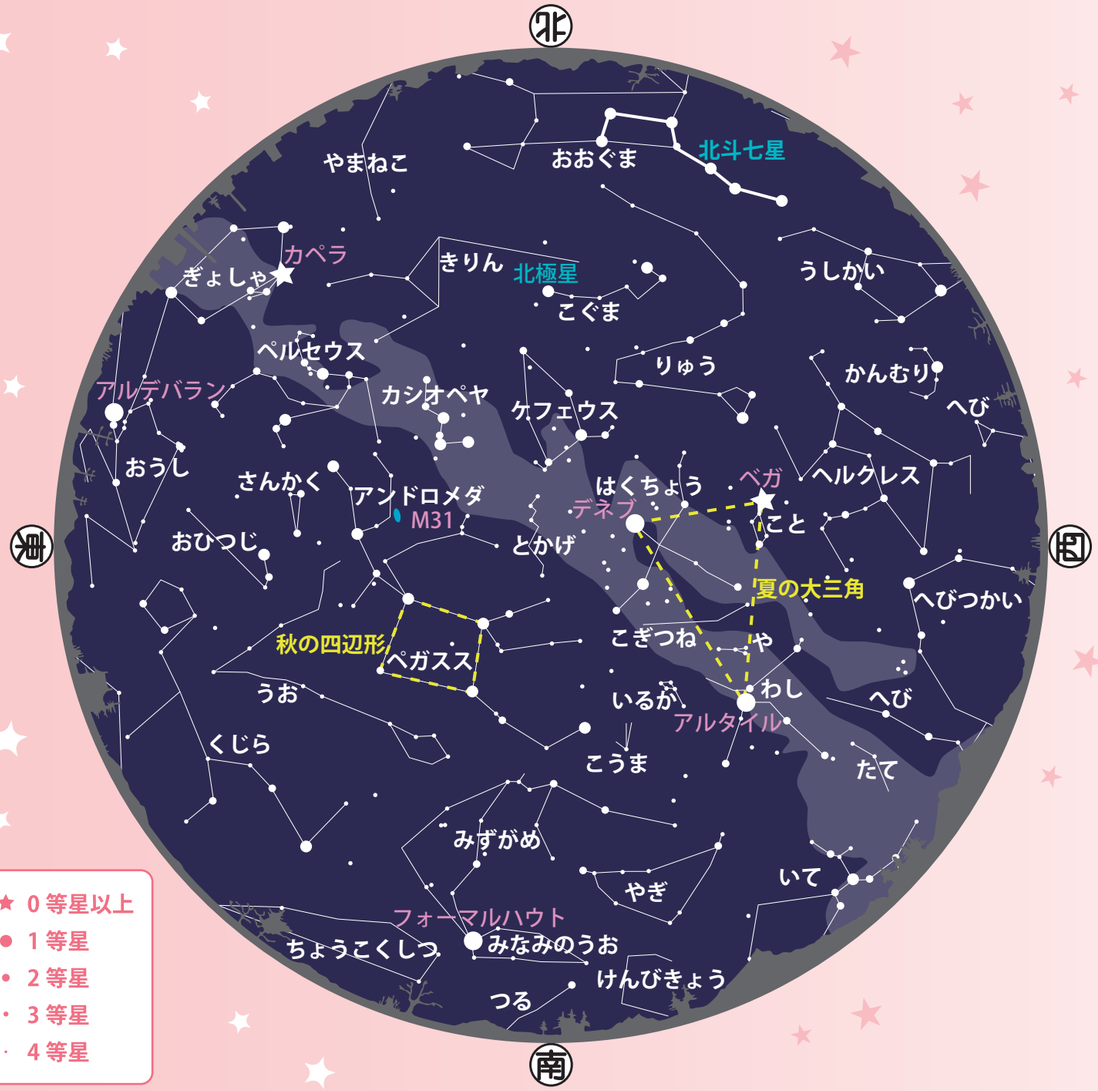


今回の表紙写真は 月面Vと月面X

撮影者：札幌市青少年科学館　天文係　荒明 慎久
撮影日：2016年8月10日　21：40
撮影地：札幌市青少年科学館
データ：Nikon D5500、PENTAX 105EDHF望遠鏡直焦点、1/200秒 ISO400

科学戦隊 サイエンジャー

2016年9・10月の空



秋に目印となるのは、比較的明るい星からできた「秋の四辺形」。南の空高くに見つけることができます。ここには空駆ける天馬、ペガスス座の姿があります。その隣にはアンドロメダ座やペルセウス座など、エチオピア王家の恋物語に登場する星座達も並んでいます。

また、秋も半ばになると、南の空低い位置に明るい星がひとつ。こちらは、みなみのうお座のフォーマルハウト。秋の星座をつくる星の中では一番明るい星です。

星図の使い方

①星図は空にかざして使います。

②空にかざしたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。

星図のように見える時刻	9/1 23時ごろ	10/1 21時ごろ

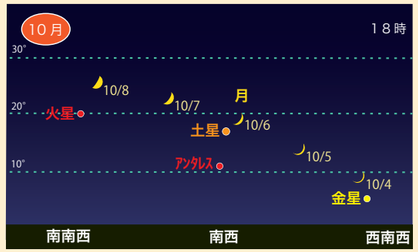
※惑星はこの時間、見ることができません。

月のかたち		
	○満月 9/17、10/16	◑下弦 9/23、10/23
	●新月 9/1、10/1、10/31	◐上弦 9/9、10/9

※10月1日　21時で作成

月と惑星のあんない

10月初旬に日没後の南西の空低いところを見ると、月と惑星が接近している様子を見ることができます。3日から4日には新月後の細い月が金星に接近します。宵の明星とも呼ばれる金星の明るさはマイナス3.9等で、ひときわ明るく輝いています。月はその後、6日に土星、8日には火星に接近します。



せいざのおはなし　ペガスス座

〈ペガスス座のおはなし〉

勇者ペルセウスを背中に乗せ、アンドロメダ姫をお化けクジラから助けに行ったのがこのペガスス座の天馬。銀色の翼を広げて大空を自由に飛ぶことができたと言われています。

〈みつけかた〉

秋の夜空で南の空高い所を探すと4つの星が四角く並んでいるのが分かります。これらはペガスス座の胴体で「秋の四辺形」と呼ばれています。

〈㊙情報！〉

実は「秋の四辺形」をつくる4つの星の中で左辺上に輝いている星はアンドロメダ座の星。私たちの住む銀河系に最も近い銀河であるアンドロメダ銀河（M31）はこのアンドロメダ座にあります。

9月…21時ごろ　南の空
10月…20時ごろ　南～南西の空